

安彦一恵先生御退職記念号への前書き

安彦一恵先生は1975年に京都大学大学院文学研究科博士課程（倫理学専攻）を単位修得退学された後に、1980年に滋賀大学教育学部に着任されました。それから2012年3月に御退職されるまで、32年間に渡って当倫理学・哲学研究室の運営に携ってこられました¹。

研究業績一覧²をご覧ください。その間の安彦先生の研究関心の幅広さを改めて確認していただけるかと思えます。先生の幅広い御関心と御研究の足跡をできるだけ反映した記念論集にするために、本号では先生御自身の御意向・御希望に基づいて、各執筆者にはテーマ指定付きで執筆依頼をさせていただきました。巻頭言をいただいた京都大学大学院文学研究科倫理学研究室水谷雅彦教授をはじめとして、御執筆いただいた皆様には編集責任者として御礼申し上げます。

なお、本誌 Dialogica は電子媒体のみの雑誌ですので、原稿を後から追加することできるようになっています。この特性を活かして、この記念号にも何本かの論文が追加される予定です。各論文への安彦先生からのリプライも順次掲載していきますので、今後の更新状況をチェックしていただければ幸いです。

2013年3月31日
倫理学・哲学研究室
神崎宣次

（ 本号目次ページに戻る = http://www.edu.shiga-u.ac.jp/dept/e_ph/dia/15.html ）

¹ 安彦先生の詳しい御経歴については、次のページをご覧ください。<http://www.edu.shiga-u.ac.jp/~abiko/#1>

² http://www.edu.shiga-u.ac.jp/dept/e_ph/abiko/abikopaper.html